上津江 Kamitsue

最後まで頑張ったよ！

９月21日、上・中津江保育園児による「つえっ子運動会」がすぎっ子こども園で開催された。園児たちはかけっこや楽器演奏、可愛い衣装を身に付けて踊るなど、この日の為に練習した成果を披露した。一生懸命頑張る園児たちに、温かい眼差しで見守る保護者からは拍手や歓声が沸き上がり、最後まで楽しい運動会となった。

笑顔と歓声の卓球交流大会

９月19日、上津江体育協会主催で卓球交流大会が上津江体育館で開催され、小学生から大人まで約30人が参加した。子供たちは大きな卓球台に苦戦しながらも楽しそうに挑戦。大人たちも勝ちを意識しながら白熱した試合を繰り広げた。初めて開催された卓球交流大会は笑顔と歓声に包まれ、参加者は楽しい時間を過ごした。

天瀬 Amagase

天瀬で人生を謳歌中

10月８日、天瀬公民館で移住者交流会が開催され、40代から80代の天瀬地区の移住者27人が参加した。それぞれ自己紹介をした後に、グループに分かれ食事をしながら交流。参加者からは「天瀬での生活を楽しんでいる様子を聞くことができた」「情報交換ができてよかった、楽しかった」との声が寄せられ、次回の開催を楽しみにしていた。

愛嬌ある案山子と華麗な彼岸花

９月16日～10月12日まで、天瀬町本城地区で、本城彼岸花と案山子祭り実行委員会が主催の「第14回本城１彼岸花案山子祭り」が行われた。９月28・29日には、好きな案山子に投票するイベントも開催され、地区内の２つの会場に七福神やミニオンなど、43組約300体の案山子が登場した。愛嬌ある案山子たちに、訪れた人々は笑顔で喜んでいた。

大山 Oyama

大きく育て！ひまわり

９月８日、小五馬地区内の休耕田にひまわりの苗を植えるイベントが行われた。遊休地の有効活用を目的に始まったこのイベントは今回で３回目を迎えた。前回までは６月上旬に種まきから実施していたが、今回は梅の出荷などの農繁期を避けての実施となった。

この日は残暑が厳しい中、子供からお年寄りまで地区内外から35人が参加し、地元の清流長寿老人会が育てた苗5,400株を約30アールの畑に丁寧に植えていった。また、9月20日には長寿老人会によって追加で6,000株が植えられた。花の見頃は10月下旬から11月初旬の予定。

文化は明るい笑顔から

９月22日、清流自治会主催の「おおやま清流文化まつり」が旧鎌手小学校体育館で行われた。会場は住民による心尽くしの風船飾りで、道化師のクラウンＫさんによるパフォーマンスや地元有志による浪曲演舞、ピアノの弾き語りが披露され、町内外から100人以上の観客で賑わった。特に道化師のコミカルな演技に、会場中が大きな笑いに包まれていた。

嬉しい初出荷！

９月６日、日田市新規就農者研修制度「大山えのきファーマーズスクール」を修了した加藤想馬さんと帆足誠さんの２人が、大山町東大山で栽培したエノキタケを初出荷した。２年間の研修を今年４月に修了し、２人で共同会社を設立。この日は約300kgを大切に箱詰めし、大山町農協に出荷した。「良いものが初出荷できて嬉しい」と笑顔で話していた。